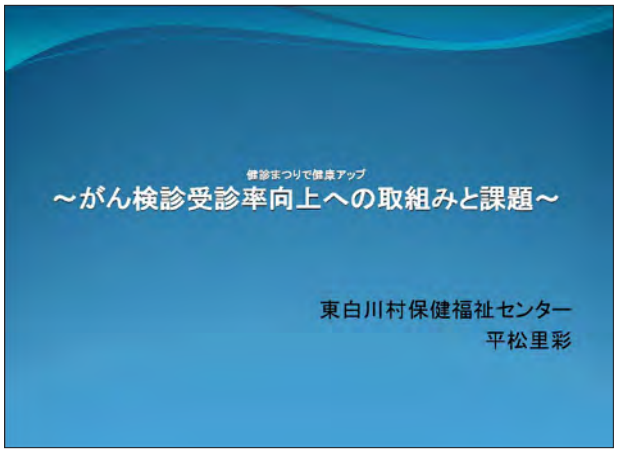
演題 142

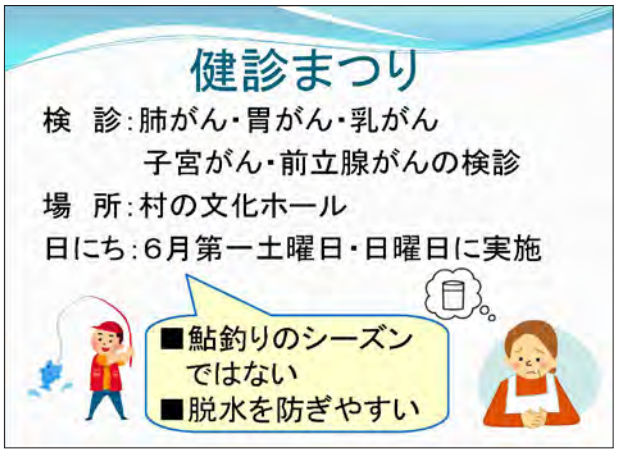
# 健診まつりで健康アップ（がん検診受診率の向上への取り組みと課題）

発　表　者　平松　里彩（岐阜県　東白川村国保診療所　保健福祉部門）
共同研究者　桂川　のぞみ



東白川村は岐阜県の東寄りに位置しており、面積の約90％が山村の、緑に囲まれた人口2,500人程の小さな村です。村の真ん中には清流白川が流れ、6月下旬になるとたくさんの方が鮎釣りを楽しみます。

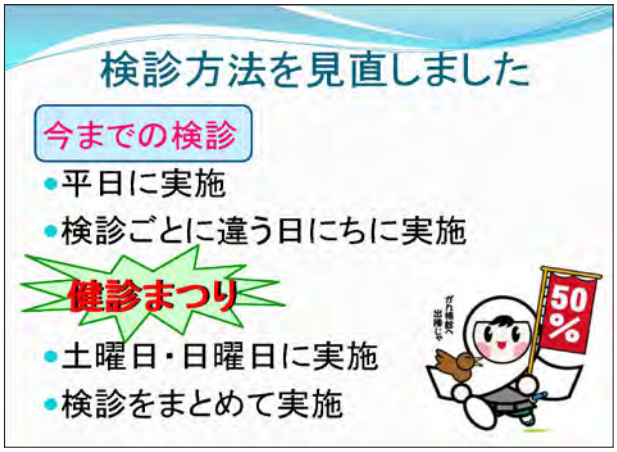
そんな東白川村のがん検診の受診率はごらんのグラフの通りです。青色が岐阜県の平均受診率、黄色が東白川村の受診率を表しています。大腸がん検診以外は、岐阜県の平均受診率と比べるととても低く、伸び悩んでいました。




そこで受診率向上をねらい、平成25年度から新たな取組みをしたので発表します。それは、「健診まつり」です。健診まつりでは、肺がん・胃がん・乳がん・子宮がん・前立腺がんの検診を、休日を利用して1日のうちに、検診が受けられるようにしました。

会場は、駐車場がたくさんある村の文化ホールを利用して行い、健診時期は、6月の第一土曜日・日曜日としました。皆が忙しくなる鮎釣りシーズンに入る前の涼しい時期を利用すれば、絶飲食の胃がん検診受診者の脱水も防ぎやすいと考えたからです。

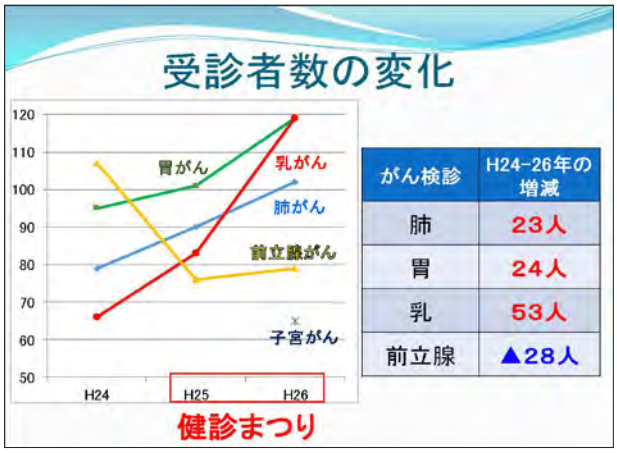
大腸がん検診については寒い時期でないと検便の保存方法が難しいと思われ、1月、2月に行いました。




以前は、がん検診を平日に行っていましたが、平日ではどうしても仕事などで都合がつかない人も多いのではないかと考えました。また、がん検診は臓

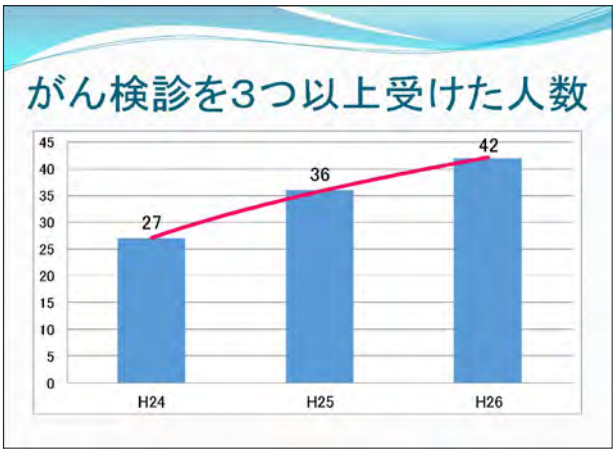
器ごとに、違う日にちに行っていたので、全部のがん検診を受けようと思うと何日も出てこなければならず、受診者の手間になっていると考えました。この２点を改善することで受診率の向上につながると考え、がん検診をまとめて、土曜日・日曜日を利用して１日で行える「健診まつり」という方法に変えてみました。

この健診まつりには、がん検診の他にもイベントがあります。それは、眼底検査や骨密度検診、ヘルシー食堂です。ヘルシー食堂では、農業婦人の団体で作るお店「白川茶屋」の協力を得て、塩分・カロリー控えめの軽食を安価で提供しました。がん検診以外のイベントも行うことにより、検診を受ける人も受けない人も、会場に来やすい環境をつくりました。

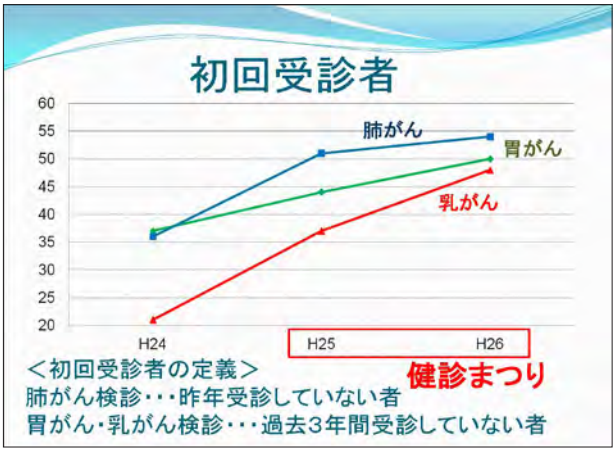



| がん検診 | H24-26年の増減 |
|---|---|
| 肺 | 23人 |
| 胃 | 24人 |
| 乳 | 53人 |
| 前立腺 | ▲28人 |

健診まつりを実施した結果、受診者数は増えてきました。健診まつりを行う前の平成24年度と平成26年度の受診者数を比較すると、肺がん検診は23人、胃がん検診は24人、乳がん検診は53人の増加でした。前立腺がん検診は28人の減少でしたが、これは24年度が前立腺がん検診の初年度であったためで、25年度に対して26年度はわずかに増加していました。




がん検診を３つ以上受けられた方は、24年度では27人でしたが、25年度は36人、26年度は42人と増えていました。これは、同時に複数の検診が受けられる健診まつりのメリットであると実感しました。

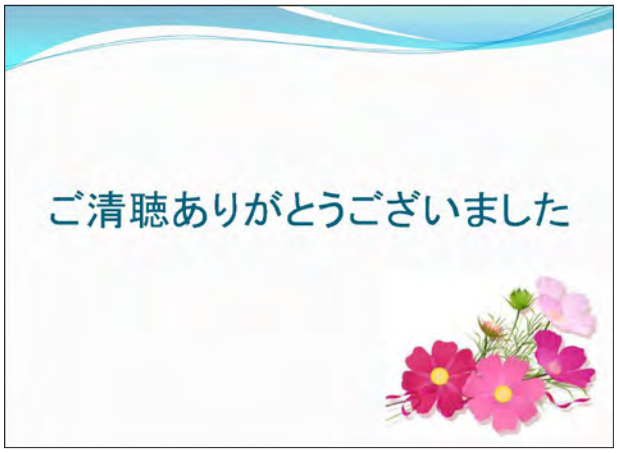



初回受診者が増えることを見込んでいましたが、確実に成果が表れていました。

| がん検診 | H23-H24 | H25-26 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 肺 | 42人 | 48人 | +6人 |
| 胃 | 41人 | 51人 | +10人 |

２年連続で受診している人数を、健診まつり前の23年・24年と、健診まつりを実施した25年・26年とで比べてみました。その結果、肺がん検診で６人、胃がん検診で10人増加していました。約１～２割の増加ですが、これもメリットかと思いました。乳がん検診については２年に１度の受診をすすめており、健診まつりを始めてまだ２年目なのでこれから

の動向をみていきたいと思います。

がん検診をまとめて、土曜日・日曜日に行う健診まつりにより、一度にがん検診を受ける方が増え、初回受診者も増えました。がん検診を受けるきっかけづくりにもつながっていたと思いました。

改善すべき課題はたくさんありますが、この健診まつりを更に発展させ、これからも続けていきたいと思います。